

## 全校集会 学校長の話（2026年1月27日）

- おはようございます。先週の1月20日が、二十四節気の「大寒」でした。そして、2月4日は「立春」です。暦の上では春の始まりです。とはいえ、現実はここからが寒さの本番みたいな日が続きます。体調を崩しやすい時期なので、睡眠・朝ごはん・手洗い、基本の生活を丁寧に。特に3年生は進路関係の予定が続くので、無理せず体調を整えていきましょう。
- それではきょうは、最近思っていることを話します。「外国から来た人に、やさしくする」という話です。僕には、今でも強く覚えている出来事があります。30年前、母と二人で外国へ行ったときのことです。朝、見知らぬ土地で朝食を食べていたら、隣で食べていた現地の男性が、すごく親切してくれました。その方は日本語が話せて、僕らが困っているのを察してくれたんやと思います。何気ない会話をして、最後にその人は、僕らの次の行き先までのバスの切符を、窓口で買うのを手伝ってくれました。初対面です。頼んだわけでもありません。でも、その親切が本当にありがたくて、安心して、その先の旅ができた。あの印象が強く残っていて、今でもふと「あの国、また行きたいなあ」と思い出すことがあります。観光地よりも、料理よりも、「人がやさしかった」という記憶が、一番残るんですね。
- ここで、北稜中のことを少し振り返ります。北稜中にも、外国から来た仲間がたくさんいます。みなさん、仲良くできていますか。大切にできていますか。言葉がたどたどしかったり、ルールがよく分からなかつたり、文化の違いがあつたり。そういうときに、周りがどう接するかで、その人がこの学校を「安心できる場所」だと思えるかが決まります。
- やってほしいことは難しくありません。困っているなら声をかける。分からなければ一緒に先生に聞く。からかつたり、笑つたり、ネタにしたりはしない。しゃべり方や行動の真似をしたりしない。自分が日本に来て、そんなからかい方をされて、その人はどう思うでしょうね。
- 最後に一つ。僕は「強い国」って、武器が強い国とか、声が大きい国のことやとは思いません。他人にどれだけやさしくできるか。弱っている人にどれだけ手を差し伸べられるか。そこに、その国や社会の強さが出ると思っています。北稜中も同じです。強い学校って、誰かを言い負かせる学校じゃない。困っている人を見捨てない学校、安心して過ごせる学校です。
- 寒い時期です。体も心も余裕がなくなりやすい。だからこそ、目の前の人々に、やさしくしていきましょう。しっかりと心に留めておいてください。